



2013MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦 参戦報告書

RACE1:予選12位 決勝9位
RACE2:予選12位 決勝出走せず

-
- ゼッケン/エントリー名 : #01/エヴァRT初号機シナジーフォースTRICKSTAR
 - 監督 : 鶴田 竜二
 - ライダー : 出口 修
 - 開催日/サーキット : 11月2日(土)~11月3日(日)/鈴鹿サーキット(三重)
 - マシン : カワサキZX10R
 - 結果 : RACE1:予選12位 決勝9位
RACE2:予選12位 決勝出走せず

[予選] 11月2日(土) WEATHER: Cloudy COURSE: Dry

今回の最終戦は45分間のQ1が行われた後、上位10位によるノックアウト方式のTOP10チャレンジ(Q2)が行われる予選。

レース1のスタート位置のポジションも決まってしまうため、決勝に向けての調整をしながらタイムアタックをしていった。3周目に2分9分421のタイムを出した出口選手は12番手となっていた為、残り時間10分を切ったところでピットインしてタイヤ交換をする事にした。

予選用タイヤを装着しコースに出て行き、タイムアタックをする為の間合いを計りながら走行していたところヘアピンカーブで他車が起こした事故により赤旗中断となってしまった。

予選用のタイヤは極限られた周回しか使用出来ない為、このタイミングでの赤旗中断は致命的なバッドタイミングとなってしまった。

しかし出口選手は気を取り直し残りの時間で好タイムを出すべく、再スタートしたと同時に一番先頭でコースインしていった。デリケートなタイヤを用いている為、計測が出来ない1周目を丁寧に走行し、アタックは2周目に賭けていた。

しかし、シケインを通過し最終コーナーに差し掛かったところでリアタイヤを大きく滑らせてハイサイドを起こし転倒をしてしまった。この時点で12番手となり、予選は終了となってしまった。

アタック前のタイムが予選結果となり、2分9秒421という記録となった。

[決勝] 11月3日(日) WEATHER: Cloudy COURSE: Dry

・ウォームアップ走行

前日の予選で転倒した出口選手は全身打撲と左脚股関節の捻挫という状態で、出走が出来るかどうか不安であった。メディカルチェックを受け異常がなく、また本人の強い希望により決勝出場を決めた。

前日の転倒により、スペアマシンにて決勝に出場する事にした。

我々は25分間のウォームアップ走行で、スペアマシンを昨日同様の仕様に合わせマシン確認をおこなった。

出口選手は 2分9秒551 という予選と変わらないタイムで走行した。その後も決勝へ向けセッティングを詰めていった。

・決勝 Race1

スタートが切られ、出口選手は1コーナーに9番手で進入していった。

その後、S字コーナーで1台にパスされ、バックストレートでもまた1台にパスされホームストレートを11番手で通過。周回を重ねていくたび 8番手と9番手にやや間隔が広がってきた。

出口選手はしっかり9番手グループに混ざりレースを進めていた。

負傷している身体が心配されたが、5日目には10位に順位を上げ、7日目には遂に9番手グループの先頭に立った。9番手に上がったところで出口選手は更にペースアップし上位を追いかけた。

全身打撲と捻挫で身体も無理が利かない状態だが必死に走り、ペースを安定させて走行を続けた出口選手。いよいよ終盤に入り8位との差も急激に縮まってきた頃、出口選手のペースが更に上がり、遂に最終ラップ。

しかし、出口選手は逆バンクでリアタイヤを大きく滑らせて、ハイサイドで転倒してしまった。

この転倒で赤旗が掲示され、このままレースが終了となってしまった。

規定により赤旗前の周回での順位がそのままレース結果となるため順位は9位となった。

レース終了後、出口選手は右大腿骨を骨折してしまい、レース2は出場が出来ない状態となった。同時に2013年シーズンも終了となりました。

[ライダー 出口修 コメント]

全日本最終戦MFJ・GPへエントリーする為、チームは予定に無かった前半戦オートポリスを急遽用意してくれました。5位とまずまずの結果を得て今回のレースに臨んだ訳ですが、8耐、ル・マンと耐久仕様のマシンでのレースからスプリント仕様への乗り換えに若干の違和感を覚え、急遽、エンジン仕様の変更、サスペンションのセッティング変更等で徐々にタイムアップして行きました。万全で迎えた筈の予選でしたが転倒。多少の怪我は有ったものの大事には至りませんでした。マシンはフレームを損傷。走らせていなかったスペアマシンを出しスタッフが懸命に仕上げ、決勝朝のフリーでまずまずのタイムを出す事が出来た事で決勝へ期待がかかりましたが、初めて走らせるマシンを上手くゴールに運ぶ事が出来ず転倒してしまい、応援して頂いた皆様には大変申し訳なく思っております。大腿骨骨折の怪我をしてしまいましたが、無事に手術も成功し、リハビリを経て早く元気な姿で復帰したいと思います。今シーズン、多くの事にチャレンジした一年でしたが、大変実り有るものでした。この機会を下さった皆様から感謝致します。本当に有り難うございました。

[監督 鶴田竜二 コメント]

今年最後のレースとなりましたが、健闘も虚しく出口選手が転倒してしまい怪我を負ってしまう結果となりレース2もリタイヤという形になってしまいました。

予選でのタイムアタック中の赤旗により、その後の転倒から流れをくずしてしまった感じがあります。出口選手は痛む身体を奮い立たせ、力走をしてくれました。

しかし、後半では傷めた怪我の影響から下半身の抑えが利かなかった為、転倒してしまったそうです。

結果は残念な結果ですが、出口選手の怪我をおして頑張る姿、それに応えようとサポートするスタッフが一丸となって戦ってくれました。

その姿は素晴らしかったと思います。

こうして2013年のレースは終わってしまいましたが、今年のこの取り組みは確実に2014年に良い結果として導いていけると確信しております。

最後になりますがメインスポンサーであるシナジーフォース様をはじめ各スポンサー様のご支援や、ご協力を頂きました各関係者様、そしていつも温かい応援を頂いているファンの皆様の支えがあったからこそ、シーズンを終える事が出来ました。

誠にありがとうございました。

今後も我々のチャレンジは続けて参りますので、どうぞ引き続きよろしくお願い致します。